

浜松百撰

特集・私の終わリ方 エンディングノート



2 0 1 3

6

NO. 667

Take Free



映画「珈琲とエンピツ」主人公
太田辰郎さん

Tatsuhiro Ota
おおたかつろう

湖西市にあるサーフショップ & ハワイアン雑貨店「Surf House Ota」オーナー。17歳の時に「サーフショップを持ちたい」という夢を抱き、紆余曲折を経て45歳でその夢を実現した。自身のドキュメンタリー映画「珈琲とエンピツ」が2011年秋に完成。6月22日～28日、「シネマイーラ」で公開。浜松出身、51歳。





大学時代にサーフィンをはじめ、いまやサーフィン歴34年。耳が聞こえないのが怖くないかときくと、「音が聞こえないからこそ怖くない。大波に巻かれる感じが最高!」。スキーやゴルフは何度でも同じコースに挑戦できるけれど、2度と同じ波はないのがサーフィンの魅力という。今村彩子監督と。



ろう者の太田さんが、愛嬌たっぷりに ろう者聴者とコミュニケーションする 姿に迫った映画「珈琲とエンピツ」。

ガ

ツシリした体格に浅黒い肌、大きな目に格好いいヒゲ。アロハシャツを着

ている太田さんはまるでハワイの人のよう。クルクルと変化する表情と、いっしょに時には彼が持つエンピツが紙の上を走り、時には手や腕が大きく動いてとても饒舌。そう、彼は音のない世界にいるろう者なのだ。

太田さんはサーフショップ&ハワイアン雑貨店のオーナー。店ではコーヒーとともに「ハワイのコーヒーです。ごゆっくりどうぞ」と書かれたメモが出てくる。お客さんやサーファーたちとも笑顔いっぱい筆談をしていて、そんな太田さんを募ってバーベキューや餅つきを企画すれば200人がすぐ大集合!

でも、ここまでには紆余曲折があった。大学卒業後、働きながら「サーフショップを持つ」夢を実現させようと日本全国のサーフショップをまわったけれど、聞こえないか



らと断られ続けて20年。ようやく修業先が見つかり41歳で退職、ボード作りと経営を学び、ハワイにも半年滞在して技術を磨いて6年前に念願の店をオープンさせたのだった。

けれど、聴者のお客さんとコミュニケーションがとれず閑古鳥。そんな時「東京ギフトショー」で米国人にコーヒーを勧められた。聞こえない上に英語がわからないと緊張していたけれど、その1杯でリラックス。聞こえないと紙に書くとそのまま筆談が始まって、なんとその場でコーヒーを仕入れる契約を。「お客さんにコーヒーを飲んでもらおう」ということが閃いて、それからどんな人の輪が広がっていったのだった。

聞こえないことを理解してもらおうと温かい心をもって一生懸命伝えればきつとうまくいく。太田さんが誰とでも楽しくコミュニケーションする様子を撮った映画「珈琲とエンピツ」が公開になる。彼の輝く笑顔に会いにきてほしい。



980000円の ハッピープライスで 挙式できる『ハピ婚』

結婚式をしたいけれど、貯金もないし、準備している時間もないしと、あきらめてしまっている方に朗報。『ハピ婚』では、少ない自己資金、短い準備期間でも満足できるウエディングプランをいろいろ用意しています。188000円の自己資金にご祝儀をプラスした金額で結婚式ができるフォーマルプランのほか、挙式のみ（挙式、教会装花、新郎新婦洋装衣装、ヘアメイク、ブーケ、ブートニア、ブライズルーム、控え室、結婚証明書）のプランは980000円。半年前〜1年前に会場を押さえるカップルが大多数ですが、忙しい

お二人の時間を短縮して3ヶ月前からのお打ち合わせが可能です。もちろん、きちんとウエディングプランナーが相談に乗ってくれるので安心。詳しくはお問い合わせを。☎053・440・1555。



言葉を越えたコミュニ ケーションを伝える 映画「珈琲とエンピツ」

耳が聞こえないため、不便な生活への怒りと孤独をエネルギーにドキュメンタリー映画制作をしていた今村彩子監督が、虚無感から制作意欲を失っていたときに出会ったのが同じろう者の太田辰郎さん。筆談と身振り手振りとピツグスマイルで誰とでも楽しそうにコミュニケーションしている彼に



強烈に惹かれて撮影したというドキュメンタリー映画「珈琲とエンピツ」が、6月22日〜28日、13時35分〜、『シネマイーラ』で。前売1000円、当日一般1500円、学生・シニア・障がい者（付添1名）1000円。太田さんの魅力に触れて監督自身の気持ちも変化したそう。太田さんが言葉を越えて楽しくコミュニケーションする姿をご覧ください。初日上映後には太田さんの舞台挨拶あり。☎053・489・5539。